

神奈川県との連携と協力に関する包括協定の再締結について

東京ガス株式会社

東京ガス株式会社（社長：笹山 晋一、以下「東京ガス」）は、このたび、神奈川県（県知事：黒岩 祐治）と締結済みの「神奈川県と東京ガス株式会社との連携と協力に関する包括協定」（以下「本協定」）の内容を見直し、改めて締結しました。

両者は、2018年10月に本協定を締結し、これまで県民サービスの向上と地域活性化に資する多様な取り組みを推進してきました。

それ以降、2020年の政府のカーボンニュートラル宣言に先んじて、2019年11月に神奈川県は「2050年の脱炭素社会の実現」を宣言し、2023年2月には「2030年度までに、温室効果ガス50%削減」を表明しました。これらは2024年3月に改定した「神奈川県地球温暖化対策計画」に反映されています。こうした社会情勢の変化を踏まえ、これまでの県民サービスの向上と地域活性化に資する連携に加え、カーボンニュートラル社会の実現に向けた取組を連携の重点として明確にするため、本協定の内容を見直し、改めて締結したものです。

本協定に基づき、神奈川県の強靭で魅力あふれる持続可能なまちづくりの実現および地域社会のさらなる発展を図っていきます。



（左から 神奈川県副知事：首藤 健治、東京ガス常務執行役員：小西 雅子）

【連携事項】

- (1) カーボンニュートラルの実現に向けた取組に関すること ※今回見直した連携事項
- (2) くらしの安心、安全、災害対策に関すること
- (3) 未病改善に関するこ
- (4) ともに生きる社会の実現に関するこ
- (5) スポーツ振興に関するこ
- (6) 地域活性化または県民サービスの質的向上に関するこ
- (7) その他社会課題解決に資する取組に関するこ

【関係者コメント】

◆神奈川県 副知事 首藤 健治 コメント

神奈川県と東京ガス株式会社は、包括連携協定により様々な取組を進めてきました。今回の見直しにより、2050年脱炭素社会（カーボンニュートラル）の実現に向けた取組などが、より一層進展することを期待しています。また、共生社会の実現や安心・安全に暮らせる地域づくり、未病の改善、地域の活性化にもご協力をいただきながら、一人ひとりの「いのち」輝く社会の実現を目指してまいりたいと思います。

◆東京ガス株式会社 常務執行役員 地域共創カンパニー長 小西 雅子 コメント

当社は、グループ経営ビジョン「Compass2030」で「価値共創のエコシステム^{*1}構築」ならびに「CO₂ネット・ゼロへの挑戦」を掲げています。地域共創カンパニーでは、多くの企業・自治体の皆さまと協業し、「IGNITURE^{*2}」の下で提供するソリューションを通じて、カーボンニュートラルな社会の実現に向けた取組を進めています。

本協定の見直しにより、神奈川県と県内自治体・県民・事業者が相互に協力し、当社グループが創業以来培ってきたお客さまからの「信頼」や、「地域密着力」を活かし、カーボンニュートラル社会の実現に向けて連携できることを大変嬉しく思っております。

神奈川県とはこれまで、カーボンニュートラル関連の情報提供や、防災イベントへの出展を通じて連携を深めてまいりました。今後も、神奈川県との価値共創により、地域課題の解決および持続可能なまちづくりに取り組んでまいります。

東京ガスグループは創立140周年を迎えました。東京を越え、ガスを越え、未来を先取りする企業として挑戦を進めてまいります。

(参考) ソリューション事業ブランド「IGNITURE（イグニチャー）」について



東京ガスは、「ソリューションの本格展開」に向け、2023年11月30日、ソリューション事業ブランド「IGNITURE」を立ち上げました。「IGNITURE」の下で展開するソリューションにより、ご家庭、法人、地域・コミュニティのお客さまが、「最適化による経済性・利便性・効率性向上などでさらに豊かな未来」と、「脱炭素・レジリエンス向上などでサステナブルな生活・事業」を、無理なく両立できます。

*1：多くの企業が、それぞれ強みを持つ領域の技術・ノウハウ・知見を持ち寄り新たな価値を創出していく事業生態系

*2：IGNITUREの詳細は[こちら](#)

以上